

# 全国の災害アーカイブ実施図書館 2019 パネル一覧

岩手大学図書館

## 自然災害関連資料コーナー

<http://mdd.iwate-u.ac.jp/>



震災関連資料だけでなく、岩手県の自然災害関連資料も収集しているのが特徴。現在、図書・雑誌・視聴覚資料など約4,000点、一枚ものチラシやパンフレットなど約3,200点を所蔵。また、Web上に「岩手県の自然災害と東日本大震災に関する資料リポジトリ」を立ち上げ、これらの資料を検索ができるほか、一部資料については、電子ファイルを公開、閲覧可能。被災者の大学として、復興には大学を挙げて取り組んでいます。



岩手県立図書館

## 震災関連資料コーナー

<http://www.library.pref.iwate.jp/>



JR盛岡駅から徒歩4分、いわて県民情報交流センター（アイーナ）に入居している図書館。東日本大震災の記憶を風化させざることを、後世に引き継ぐため、平成23年10月21日に同コーナーを設置。被害状況、救援活動、復興などに関する資料を収集し公開しているほか、企画展、セット貸出等を実施している。



宮城県図書館

## 東日本大震災文庫

<http://www.library.pref.miyagi.jp/>



平成24年7月に「東日本大震災文庫」を設置。東日本大震災に関する資料全般を収集・公開、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料約6,600点を所蔵するほか、フリーペーパーやチラシ・掲示物等も幅広く収集し、「東日本大震災関連資料ファイル」として約3,600点を公開。またデジタルアーカイブ「東日本大震災アーカイブ宮城」を宮城県及び県内全市町村と連携・協力して構築。運営。公開コンテンツ数は約22万件。



東北大学附属図書館

## 震災ライブラリー

[http://www.i-repository.net/ii/meta\\_pub/G000398shinsai](http://www.i-repository.net/ii/meta_pub/G000398shinsai)



東日本大震災の経験を後世に伝える、今後の防災対策にかかる各種事業の参考とするため、東日本大震災に関連する各種資料を収集・保存し、館内に特設コーナー「3.11震災文庫」を設け、市民の閲覧・貸出に供しています。図書・雑誌・行政資料に加え、民間企業や各種団体の活動記録や被災体験記録等の提供もあり、現在、約10,000点を所蔵しています。



仙台市民図書館

## 3.11震災文庫

<http://lib-www.smt.city.sendai.jp/>



東日本大震災の被災状況を後世に伝え、今後の防災対策にかかる各種事業の参考とするため、東日本大震災に関連する各種資料を収集・保存し、館内に特設コーナー「3.11震災文庫」を設け、市民の閲覧・貸出に供しています。図書・雑誌・行政資料に加え、民間企業や各種団体の活動記録や被災体験記録等の提供もあり、現在、約10,000点を所蔵しています。



東松島市図書館

## まちなか震災アーカイブ (ICT地域の絆保存プロジェクト)

<http://www.lib-city-hm.jp/lib/2012ICT/shinsai2012.html>



東日本大震災直後から市図書館が、自然災害の記録として市民の震災の体験談、被災写真や資料を収集・整理してきたものをまとめたアーカイブ。時間の経過と共に人の記憶は風化し、やがて消えていくため、後世に伝えていくことを目的として、市内の公共施設や書店の協力を頂きQRコードが貼ったステッカーを設置。QRコードを読み込むことで各地域の震災時の写真が閲覧できる。



名取市図書館

## 名取市震災アーカイブ

<https://lib.city.natori.miyagi.jp/311arc/homes>



地域・行政資料を集めた「情報発信コーナー」名取の宝「こ」内において、東日本大震災関連資料コーナーを設置しています。また、HPで公開しているデジタルアーカイブは、東日本大震災の記録を集めた震災アーカイブと、名取市の古写真や過去の市報をデジタル化した名取市アーカイブの2つで構成しています。名取市アーカイブでは、過去の水害や地震の写真も見る事ができます。



福島大学附属図書館

## 震災関連資料コーナー

<https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/shinsai/>



東日本大震災に関する資料をはじめ、震災に関する様々な資料を収集しており、震災・復興・ボランティア・福島第一原子力発電所・防災などに関する購入資料が中心となっています。これらの資料は、学内外の皆さまにご利用いただいています。また、平成29年9月より「福島大学附属図書館 震災関連アーカイブ」を開設し、震災に関わる本学教員の成果物などをウェブ上で公開しています（本学リポジトリの平成26年3月からの公開データを移行）。



福島県立図書館

## 東日本大震災福島県復興ライブラリー

<https://www.library.fks.ac.jp/>



平成23年3月に発生した東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故とそれに伴う県内の被災・復興についての関連資料を収集・整理し、「東日本大震災福島県復興ライブラリー」として平成24年4月28日より開設。ブックガイドの作成・発行、出張展示セットの貸出等も実施している。



(国研)日本原子力研究開発機構(JAEA)図書館

## 福島原子力事故関連情報アーカイブ(FNAA)

<https://f-archive.jaea.go.jp/>



福島原子力事故関連情報アーカイブ(FNAA)は、JAEA図書館が運用する、事故対応の研究開発の情報面で支障を目的とするデータベースです。2011年3月に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故に関する、各機関から発信されたインターネット情報及び学会等における発表情報を収集・整理して提供しています。同アーカイブはウェブサイト上で公開しており、誰でも自由にご利用いただけます。



浦安市立中央図書館

## 浦安震災アーカイブ

<http://urayasu-shinsai-archive.city.urayasu.lg.jp>



浦安震災アーカイブは、「浦安市復興計画」（平成24年3月）に基づいて、平成27年7月より公開いたしました。東日本大震災によって、浦安市内のいたるところで液状化が発生しました。浦安震災アーカイブでは、当時の写真や資料を中心に構成しています。液状化の記録の取り組みを後世に伝えるとともに、来るべき災害に備え、子供たちへの防災教育や、市民が家庭や職場で取り組む「自助」、地域における「共助」に役立てて頂きたいと思えます。



国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター

## 自然災害情報室

<http://dii.bosai.go.jp/>



自然災害に関する様々な資料・情報を全国を対象として積極的に収集・整理・アーカイブしています。また、これらの資料を解析し、被害や社会への影響を明らかにする研究を行い、その成果を発信しています。大災害発生時には災害対応支援を目的に、防災科クライシスレスポンスサイト(NIED-CRS)より関連する情報の集約・発信を緊急的に行っています。



聖学院中学校高等学校図書館

## 東日本大震災コーナー

<http://library.seig-boys.org/>



東日本大震災関連の図書を収集し、震災教育に役立てています。また、資料収集だけでなく、情報を発信する側にもなるため、ボランティア団体が主催による「震災復興本が読んだ役割」や、「仙台で被災した教師からのメッセージ」といった講演会の実施、映画「新地町の漁師たち」の上映、さらに志本市から得た収益金を被災図書館やボランティアへ寄付しています。震災資料については図書館HP「デジタルアーカイブズ」でご覧いただけます。



(公社) 全国市有物件災害共済会

## 防災専門図書館

<https://www.city-net.or.jp/library/>



昭和31年の開設以来、自然災害・人為災害の記録や対策などの資料約16万冊を収集してきた公開型図書館です。東日本大震災関連は4,400冊以上あり、防災教育関係の資料も積極的に収集しています。江戸時代からの版などの貴重書は、デジタルアーカイブとして公開しています。個人だけでなく、図書館からの専門的なリファレンスや選書のご相談を積極的に受け付けています。「ぼうさいいろはかるた」もぜひご利用ください。



国立国会図書館

## 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ (ひなぎく)

<http://www.kn.ndl.go.jp>



ひなぎくは、東日本大震災に関連する記録等を国全体で収集・保存・公開するためのポータルサイトです。音声・動画、写真、ウェブ情報等のあらゆる記録等について、国立国会図書館が保有するものだけでなく、連携する他の公的機関や民間団体等が保有するものも含めて、包括的に検索することができます。



(公財) 後藤・安田記念東京都市研究所 市政専門図書館

## 関東大震災に関する文献目録 東日本大震災関連文献目録

<http://www.timr.or.jp/library/>

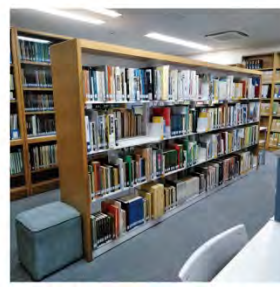


関東大震災の被災状況、復興計画・事業など豊富な。関東大震災に関する和書357冊、洋書12冊、地図35枚、雑誌論文519点を収録。一部資料はデジタルアーカイブで利用できる。



## 砂防図書館

<http://sabolib.jp/>



砂防とは、台風や集中豪雨さらには地震や火山噴火などにより起こされる土石流等の土砂災害から、人々の生命や財産を守り、安全な暮らしを支える事業です。当館では、毎年各地で発生する土砂の流出、地すべり、崩壊、土石流、雪崩等による土砂災害に関する資料や砂防に関連する分野の資料を幅広く取り揃えています。蔵書数は約3万3千点。明治館からの災害記録や復旧工事記録、海外技術協力による世界に展開する砂防事業の記録や映像資料など、土砂災害に関する豊富な資料を所蔵しています。



(独) 国際協力機構

## JICA図書館

<https://libportal.jica.go.jp/library/public/Index.html>



気候変動・温暖化とともに各国で様々な災害が発生しています。日本は、その経験と知見、技術を生かして、緊急援助から復興支援、さらに防災について幅広い協力を実施しています。JICA図書館は、その記録と事業の過程で収集した各国の災害・防災に関する情報をアーカイブしてインターネットで公開しています。

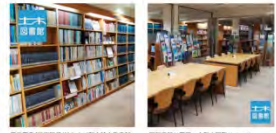


# 災害関連資料の収集と提供

<http://www.jsce.or.jp/library/>



公益社団法人土木学会が設置する土木工学分野の総合的専門図書館。土木学会が実施した国内外の災害調査報告書や研究論文、災害対策や復興に関する研究成果を収集、保存し、提供。土木学会の報告書や研究論文はデジタル化し、一部はインターネットアクセスが可能。HPには「震災デジタルライブラリー」を開設し、1996～2010年の間に国内外で生じた主要な地震の被害調査報告書や東日本大震災関連の資料を公開。



埼玉県男女共同参画推進センター情報ライブラリー

# 災害と防災を知るための資料コーナー

<https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/library/index.html>



東日本大震災の際に、避難者の受け入れを行い、現在も継続して避難者の集いの場「さいがいつながりカフェ」を提供しています。情報ライブラリーでは女性が防災に関わることで被災したすべての人の生活環境が改善されるよう、過去の災害の経験から学びとれる様々な資料を集めたコーナーを設けています。また、これらの資料と統計をもとにパネルを作成し、県内へ貸し出しています。



NPO長野県図書館等協働機構

# 信州地域史料アーカイブ

<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/2000515100>



長野県下の図書館、文書館、博物館、歴史館等と歴史研究者、市民等が参画し、書物に載る地域史料をインターネットにより市民に還元するため、平成25年にNPO長野県図書館等協働機構を設立。平成25年度より長野県下の図書館等が所蔵している地域史料のアーカイブ事業を推進し、現在約200タイトルの地域史料をアーカイブし、ネット提供しています。



名古屋市内南図書館

# 伊勢湾台風資料室

[http://www.library.city.nagoya.jp/guide/m\\_minami.html](http://www.library.city.nagoya.jp/guide/m_minami.html)



伊勢湾台風は、東海地方を中心に甚大な被害をもたらしました。忘れぬ記憶や関係資料の急増の中で、災害記録を広く収集して保存すること、防災意識を高めること、今後の災害に備えていくことを目的に設置されました。被害状況、復旧・対策事業、新聞・雑誌記事などの資料を約1,200点、市南館を中心とした被災状況や救済活動を究明に投入した記録写真も約3,000点所蔵しています。今年度は被災60年の節目にあたり共催展示、シンポジウムにも取り組みます。



兵庫県立図書館

# フェニックス・ライブラリー

<http://www.library.pref.hyogo.lg.jp/>



ふるさとびょうご情報室の一角にフェニックス・ライブラリーを設置し、あらゆる阪神・淡路大震災関連資料の収集に努めています。またフェニックス・ライブラリー震災関連雑誌記事索引や震災資料検索(フェニックス・デジタルライブラリー)などのデータベースを作成し、ホームページ上で公開しています。



熊本県立図書館

# 「平成28年 熊本地震」に関する資料の収集

<https://www2.library.pref.kumamoto.jp/>



デジタルデータ以外の資料を広く収集し、今後の防災教育や調査研究への活用のため公開していきます。令和元年10月現在で地震関連資料数は雑誌も含めて約1,400冊ほどになりました。現在も収集を続けており、地震関連資料の特集コーナーは3階に常設し、資料の紹介を行っています。震災直後に日本全国で発行された地方紙を製本した資料もあります。



海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 図書館

# 地震・津波関連資料コレクション(専門書・一般書・児童書)

<http://www.jamstec.go.jp/jpr/library/>



地震・津波発生の実態像を明らかにし、災害の軽減につなげることを重点課題のひとつに据える国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)。研究開発成果を広く社会に還元する目的で、海洋・地球科学に関する専門書・一般書・児童書を所蔵する図書館を一般に公開しています。地震・津波に関する資料も広く収集提供しており、所属研究者の著書を中心とした企画展示を不定期開催しているほか、東日本大震災と熊本地震について、発生から1ヵ月分の新聞を保存しています。



長岡市立中央図書館文書資料室

# 長岡市災害復興文庫

[http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page\\_id=134](http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/?page_id=134)



平成16年(2004)10月23日に発生した新潟県中越地震をきっかけに活動を開始。平成26年度に開設した「長岡市災害復興文庫」は、被災歴史資料、災害復興関連資料、歴史文書の3つの資料群で構成されています。災害・復興に関する文書資料を蓄積し、市民協働と関係機関・団体との連携によって保存・活用する取り組みです。自然災害と向き合う長岡市民の体験・記憶を未来へ伝えていく役割を担っています。



信州大学附属図書館

# 語り継ぐ"濁流の子"アーカイブス

<http://lore.shinshu-u.ac.jp/>



昭和36年6月に伊那谷を襲った豪雨災害「三六災害」。語り継ぐ「濁流の子」アーカイブスでは、散逸や風化の恐れがある災害に備えるための知恵や教訓等、様々な情報資源を収集し、伊那谷地域内外に、そしてまた後世に向けて語り継いでいきます。災害を目の当たりにした小、中学生の作文集「濁流の子」をはじめ、写真・音声等をWeb上で公開しています。(天竜川総合学習館かららんべ、天竜川上流河川事務所、信州大学附属図書館の連携協働プロジェクト)



大阪市立図書館

# 大阪市立図書館デジタルアーカイブ Webギャラリー

<https://image.oml.city.osaka.lg.jp/archive/>



大阪では、過去に地震や台風などの災害に悩まされてきた歴史があります。これらの記録が、被害地域の図や写真などで残っており、当館資料として保存しているほか、デジタルアーカイブ化し、公開しています。また、「ジューン台風記録写真展」【大阪の災害一江戸・明治期にかけて】「大阪の災害一江戸期から昭和まで」と題し、Webギャラリー(インターネット上のバーチャルな展示)を過去に3回行いました。オープンデータとして活用できる画像もあります。



国立女性教育会館

# NWEC災害復興支援女性アーカイブ

[http://w-archive.nwec.jp/ii/meta\\_pub/G0000337wd](http://w-archive.nwec.jp/ii/meta_pub/G0000337wd)



国立女性教育会館(NWEC)と、全国の女性関連施設・被災地の女性グループ・被災地の復興を支援するグループ等が連携して構築するアーカイブです。女性の視点に根ざし、女性関連施設等による災害復興支援活動の記録を、NWEC提供のデータベースに登録することによってインターネットで公開しています。国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」からも検索が可能です。



小千谷市立図書館

# 新潟県中越大震災資料コーナー

<http://www.city.ojiya.niigata.jp/site/library/chuetsu-earthquake.html>



小千谷市立図書館内にある、中越大震災関連資料を収集したコーナーです。書籍だけでなく、当時の震災復興記念イベントのパンフレットなども収集しており、震災から復興へと歩んだ歴史が生き生きと残されています。震災から10年以上を経て、開業の一部を残し、ほんのりと開架へ移動しましたが、今もなお強い存在感を放っています。



名古屋大学 減災館(減災連携研究センター)

# 減災ライブラリー

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>



防災・減災に関する書籍や、東海4県を中心とした自治体・ハザードマップ・災害等を中心に収集しています。開業大震災の絵葉書や津波の絵葉書の写真など、一次資料を蓄積されており、企画展にて、紹介・展示しています。建物1Fには防災・減災の学べる展示エリアがあり、センター所属教員のギャラリートークが毎週開催に実施されています。図書を用いた調べ学習以外に、専門家の話を伺ったり、直接質問する事ができるのが大きな特徴です。



神戸大学附属図書館

# 震災文庫

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/eqb/>



被災地にある図書館の責務として、阪神淡路大震災発生から9ヶ月後の1995年10月に公開し、来年で25年目を迎える文庫です。収集資料は図書や雑誌だけでなく、写真やチラシ等多岐にわたり、所蔵資料数は5万9千点を越えています。そのうち約5千点はデジタルアーカイブでも公開しており、さらに2019年1月以降、一部の写真にはCCライセンスを適用し、より活用しやすくなっています。また、個人のご利用だけでなく、授業での利用や図書館や博物館関係者の見学等、団体でのご利用も広く受け入れています。



神戸市立中央図書館

# 震災関連資料室/1.17文庫

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/institution/institution/library/facilities/shinsaikanren.html>



神戸ふるさと文庫の一角に「1.17文庫」を設置。震災直後から収集を行っている阪神・淡路大震災関連資料を配架。また「震災関連資料室」では、震災体験や防災についてのパネルや関連図書を展示している。有事に備える防災学習のため「災害時のトイレについて調べる」「被災後の住まいについて調べる」など、6種のバスファウンダーを作成、配布している。



熊本大学附属図書館

# 熊本地震ライブラリ

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/>



熊本地震資料の収集・保存・公開を通して、資料の提供者と将来の利用者との橋渡しを目指しています。地震から半年後の平成28年10月14日に館内展示とweb版で「熊本地震ライブラリ」の公開を始めました。館内に常設コーナーを設け、図書・雑誌・広報誌・報告書・チラシ等の資料を約1200点展示しています。web版では、大学・自治体等の取り組みや研究成果へのリンク集を作成しています。



益城町図書館

# 益城町図書館の熊本地震アーカイブ

<http://www.town.mashiki.lg.jp/kouryu/>



益城町は平成28年熊本地震において、2回の震度を経験しました。益城町図書館では、発災直後より積極的に、震災資料を収集・保存しています。この記録は町の新たな歴史になります。震災を物語る資料のみならず、復興途上の最新情報の提供も、復興への歩みに関する資料の公開・展示コーナーを設けております。これら復興へと歩を進めていく益城町の震災情報をご覧ください。

